挨　拶



「保健主事」は、1950 年に初めて「学校保健の調整者」として配置され、翌 1951 年に全国学校保健会の所属部として本会「全国学校保健主事会」が結成されました。これまでの約 75 年間の活動にご尽力された先輩諸氏に深く敬意と感謝の意を表し務めを全うする次第です。

さて、「変動的で、不確実で、複雑で、曖昧な時代」、いわゆる VUCA 時代（Volatility：変動性、Uncertainty：不確実性、Complexity：複雑性、曖昧性 Ambiguity：曖昧性）が現在及び将来続くと言われます。ご存じの通り、子どもたちを取り巻く環境は急速に変化しており、「心身の健康保持」「生活習慣の改善」「感染症対策」、そして安心して学校生活を送ることができる環境づくりがますます重要になっています。安全課題（交通安全・災害対策・不審者対応・SNS 等）」に対しても同様です。

この VUCA 時代を生きる子どもたちには「自ら考え、判断し、行動できる力」が求められますが、「心身の健康を保ちながら自分らしく生きる力」は最も必要とされる力の１つです。

それゆえに学校には、保健教育や健康づくりの取組を通して「自分で自分の心や体を守り育てる力の育成　～自ら守り育てる心とからだ～」が、これまで以上に期待されています。

私たち全国学校保健主事会は、全国の学校保健安全の向上・推進に寄与することを目的とします。全国各地の保健主事会・学校保健主任会、及び、日本学校保健会を始めとする学校保健に係る諸機関・団体と連携しながら保健主事の資質向上、学校現場における健康教育の推進を図る組織です。

しかしながら、校務の多忙化等により、学校の健康教育推進のキーマンである保健主事がコーディネート機能を発揮しにくい状況が散見されます。

これらを鑑み、全国学校保健主事会は、次のような思いをもって「自ら守り育てる心とからだ」の推進を図ります。

Ⅰ．保健主事をサポートする情報発信　～保健主事の先生方を元気にしたい～

本会のこれまでの全国大会や評議員会、各地区で実施された研究大会・研修会で発表された実践を整理します。そして、全国学校保健主事会のホームページ、及び、各都道府県の学校保健担当との密な連携を通して、全国の学校の保健主事が「いつでも情報が見られる。」「うまく活用できる。」と感じるサポートを心掛けます。

Ⅱ．保健主事の資質向上　～学びの場を充実させたい～

保健主事の先生方には「マネジメントの How to がわからない」「学ぶ相手・機会が少ない」という悩みがあり、やりがいを感じられないケースがしばしばあるようです。各都道府県でも、研修会の持ち方に大変苦慮されています。「研修会の充実のための How to」等をさらに積極的に伝える方法を考え、研修会の推進をサポート致します。

学校保健を担う保健主事の先生方が誇りを持って職務に邁進できるような環境づくりに精進いたします。これからも皆様のご支援・ご協力の程、よろしくお願い致します。

全国学校保健主事会　会長　中西　俊文